

様式第3号(第12条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	平成21年度 第1回吉川市介護福祉推進協議会
開 催 日 時	平成21年11月6日(金) 午後3時00分から 午後4時00分まで
開 催 場 所	吉川市役所201会議室
出席委員(者)氏名	中村 信委員、 矢野 義光委員、 戸張 英男委員、 大脇 利彦委員、 中田 眞矢子委員、 足立 有庸委員、
欠席委員(者)氏名	峯尾 武巳委員
担当課職員職氏名	いきいき推進課 課長 岡田 弘好 いきいき推進課高齢福祉係長 曾我 幸央 いきいき推進課介護認定係長 飯田 智子 いきいき推進課介護給付係長 森 保美 いきいき推進課介護給付係 石塚 晶則
会議次第と会議の 公開又は非公開の別	1. 地域包括支援センターの運営状況について 2. 第3期吉川市老人保健福祉計画・介護保険事業計画について 3. 第4期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画について 4. その他
非公開の理由(会議を 非公開にした場合)	
傍 聴 者 の 数	3人
会議資料の名称	1. 地域包括支援センターの運営状況について 2. 吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の進捗状況について 3. 地域包括支援センターにおける予防給付ケアマネジメント業務の外部委託について
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	戸張 英男委員、中田 眞矢子委員
その他の必要事項	なし

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)

<p>司会</p>	<p>開 会</p>
<p>会長 あいさつ</p>	
<p>議事 中村会長</p>	<p>・議事の前に戸張委員、中田委員を議事録証明委員に指名する。</p>
<p>1. 地域包括支援センターの運営状況について</p>	<p>(事務局説明)</p>
<p>大脇委員</p>	<p>虐待が19件あるが、どういったケースなのか。それに対してどのように対応しているのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>家庭内でのことであるので、行政が入ってもなかなか解決には至らない。施設側は事故、家族側は虐待と主張するようなケースもあり、家族側が納得しないこともある。</p>
<p>中村会長</p>	<p>認知症の方は、虐待を訴えられないから、なかなか表に出ないことがある。</p>
<p>事務局</p>	<p>地域包括支援センター職員の積極的な活動により、表に出てきたケースも多くなっている。</p>
<p>矢野委員</p>	<p>虐待・権利擁護で30件とあるが、どんなケースだったのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>家族が認知症だということを理解できずに虐待に至ったケースや年金を取ってしまう金銭的なトラブルなど、ケースは多岐にわたる。親子の関係が多い。</p>
<p>矢野委員</p>	<p>地域包括支援センターの職員が動いても、家族が虐待の事実を隠してしまうケースや食事を与えない等の虐待もあるようだ。どのようなときに市に報告するのか、また市が関わるときはどのようなケースか、何か判断基準があるのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>現在、虐待防止マニュアルを作成中である。今後はそれに基づき対応していく。</p>
<p>中村会長</p>	<p>ほかにご意見がないようなので、次の議題に移る。</p>

<p>2. 第3期吉川市老人保健福祉計画・介護保険事業計画について</p> <p>3. 第4期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画について</p>	<p>(事務局説明)</p> <p>※「2. 第3期吉川市老人保健福祉計画・介護保険事業計画について」と「3. 第4期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画について」は、関連するので併せて説明。</p>
<p>中田委員</p>	<p>気分転換ショートステイの利用実績が減っているが、先ほど話のあった虐待を受けられている方々は利用することができないのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>気分転換ショートステイは、介護認定で自立（非該当）とされた方の受け皿として行っている事業である。</p>
<p>中田委員</p>	<p>認定者は手厚くサービスを利用できるような気がする。福祉は万人が受けられるべきであると思う。介護認定がない方でも、必要なサービスがあると思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>介護認定者以外の方のサービスについては、必要性を感じているところである。気分転換ショートステイについては、要介護認定の申請をして自立（非該当）とされた方が利用できるようにしたものであり、要支援1以上の認定が出た方は介護保険のサービスとしてご利用いただく。</p>
<p>中田委員</p>	<p>今の制度は、要介護1だとダメで要介護2だと良いとか、線が引かれ過ぎている。介護保険料を払っているのだから、利用する方々の状態に応じて利用できるような制度であると不満も出ないのではないか。</p>
<p>大脇委員</p>	<p>介護認定が受けられるくらいの状況で、介護認定の申請をしていない人はいるか。</p>
<p>中村会長</p>	<p>本人が否定する場合には、あるのではないかと。</p>
<p>事務局</p>	<p>その通りである。</p>
<p>矢野委員</p>	<p>介護保険制度もかなり変動しているので、利用者に対して、今の状態のときにどのような救済措置を講じるか、中田委員の発言内容は今後広く考えていくべき問題である。</p>
<p>中村会長</p>	<p>ほかにご意見はないかと。</p>
<p>中田委員</p>	<p>健康体操教室や介護予防教室は、これから団塊の世代の方々が参加すると思うので、もっと増えてくると思う。</p>

事務局	介護予防教室は、運動習慣の継続性というところを重視している。今回は間口を広げるということで、前期の受講者は後期の受講をお断りさせていただいた。それでも、定員に達してしまうので、今後はさらに増やしていこうと考えている。
中田委員	受講者が地域に帰って受講内容を伝え、運動習慣が広がると良い。
中村会長	ほかにご意見がないようなので、次の議題に移る。
4. その他	(事務局説明) 「地域包括支援センターにおける予防給付ケアマネジメント業務の外部委託について」
全員	了承。
中村会長	質問もないようなので、これで議題を終了する。
司会	閉 会

以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成21年12月14日

署名委員 戸張 英男

署名委員 中田 眞矢子